

事務局だより

吉川勇一さんの近況

吉田 和雄

●3月半ば、梅の花が満開になりだしたのに、東京では春の陽気が感じられませんが。でもみなさんのお手元に本誌が届くころには桜の便りがニュースを賑わしはじめるかもしれません。／皆さんもお気づきかもしれませんが、吉川勇一さんが毎号、反戦交友録を書かれておりましたが、今号はお休みです。オヤツと思われた方もいらっしゃるでしょう。／吉川勇一さんは昨年12月以来ホームページの更新もなく(?)、心配されている方もおられると思いますので、近況をお知らせします。

吉川さんは今年1月19日、自宅の高層住宅前で車を降りようとした際、左大腿部を複雑骨折しました。以後、近くの病院に入院され、翌20日に手術。複雑骨折の程度としては比較的には軽いようで2月25日に近隣のリハビリ専門病院に転院。現在まで懸命のリハビリを続けています。とはいえ、病院生活というのは禁酒、禁煙は当然としても、就寝・消灯

を優先する病院側と、できる限り自由な生活をしたがりたい患者の欲求が時としてブツカルことも……。御兄弟(姉妹)や側近のように吉川さんの世話を続けているHさんの御協力には頭が下がります。

吉川さんは、「憲法を破壊し、やりたい放題の安倍政権に強く反対せねばならない」と言って、意見広告の賛同人に著名な映画監督に加わってもらいたいと意欲を燃やしていました。リハビリ作業に取り組む姿は、優等生のように率先して懸命でした。2ヵ月程度のリハビリ入院のようですが、どこまで回復するかは予断を許しません。パソコンの持ち込みはOKとのことなので、近々、ご本人から近況報告があるかもしれません。

●読者の皆さんには既に何度もお願いしていますが、今年5月3日の市民意見広告の実現、成功に向け、事務局はこの時期、不安と期待、緊張の入り混じった空気に包まれます。チラシ発送、データ入力など日常作業の傍ら、新聞紙面のキャッチコピーをどうするかなど、提案が出され、議論が白熱します。賛同への御協力をお願いします。

●3・11東日本大震災、原発事故から3年。3月7〜8日、原発ゼロ大統一行動が盛り上がりしました。東京の日比谷公園、国会包囲行動には主催者発表で3万人が参加。福島県では、いわき市、郡山市、福島市の3ヵ所同時集会が行なわれ、あわせて5300人が参加、14基の原発が集中する福井県敦賀市では

フーセン揚げアクション

7500人が集まり、大変な盛り上がりだったとか。



安倍の地元、山口県でも上関原発建設に反対する集会もたれました。原発再稼働反対、脱原発という声は、最近のNHKの世論調査でも8割に達しました。驚いたことに、3月10日のNHKラジオでは、この調査結果の解説の中で「アメリカは104基、フランスは58基の原発があり、世界では原発推進が趨勢だ」と言っており、テレビニュースでは調査結果自体が報道されなかったとか。今後NHKの報道姿勢の追及、料金不払いなどの運動の呼び掛けがあっても良いのではないのでしょうか。

●当会では今後の会のあり方を巡って食事時にも討論することがあります。「若い人たちに市民運動をどう伝え、担い手をつくっていくか」「若い人に自由にやってもらう環境を作ることが私たちにできることではないか」「私たちの世代の運動の歩みなどを講座を開いて伝えていこう」など、議論はつきません。私は共同代表の皆さんには「80代までは現役ですから」とゆうてますので、当会はあと10年はもつと思っています。

よい知恵と人材を求めます。
(よしだ・かずお/本会事務局長、写真提供も筆者)

リハビリ中の吉川さん



時間、食事、移動の制限などさまざまな規則に「縛られる」ことが常。患者の健康管理、安全